広報119

やめ消防

Yame Fire Department

2021年　9月号

災害件数（令和3年8月10日現在）
火災：八女市　17件　　広川町　3件
　　高速・その他　0件
救急：八女市　1,676件　広川町　423件
　　高速・その他　8件

【発行】八女消防本部予防課調査広報係　〒834-0063　八女市本村22-1　TEL（0943）24-1119

もしもに備えて

あらゆる災害を想定し、迅速な対応が出来るように、私たちは日々訓練に励んでいます。

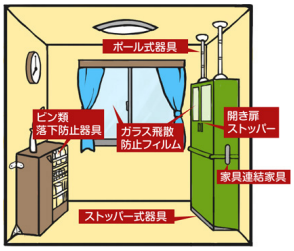
八女消防本部公式 LINE アカウント開設しました

八女消防本部に関する情報や防火、防災、救急に関する情報を発信しますので、
ぜひ友だち追加をお願いします！！　友だち追加　ID：@675euzjf / QR コードはこちら→

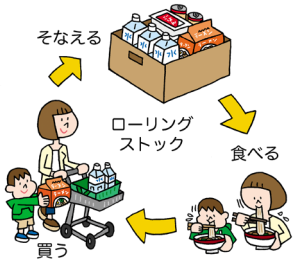
9月1日は防災の日 ～被害を軽減するために～

９月１日は防災の日です。１９２３年（大正１２年）９月１日（土）に発生した関東大震災にちなんだもので、関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて、１９６０年（昭和３５年）に制定されました。

最近では、地震や台風、洪水などの自然災害が頻発しています。災害による被害を軽減するため、日頃からしっかりとした対策や準備をしておきましょう。



△ 家具の置き方、工夫していますか？



△ 食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

△ 非常持ち出しバッグの準備、できていますか？

△ ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

△ 避難場所や避難経路、確認していますか？

これまでの対策と準備をそれぞれ家庭や身近な人たちと振り返り、災害に備えましょう。

9月9日は救急の日 ～大切な命を守るために～

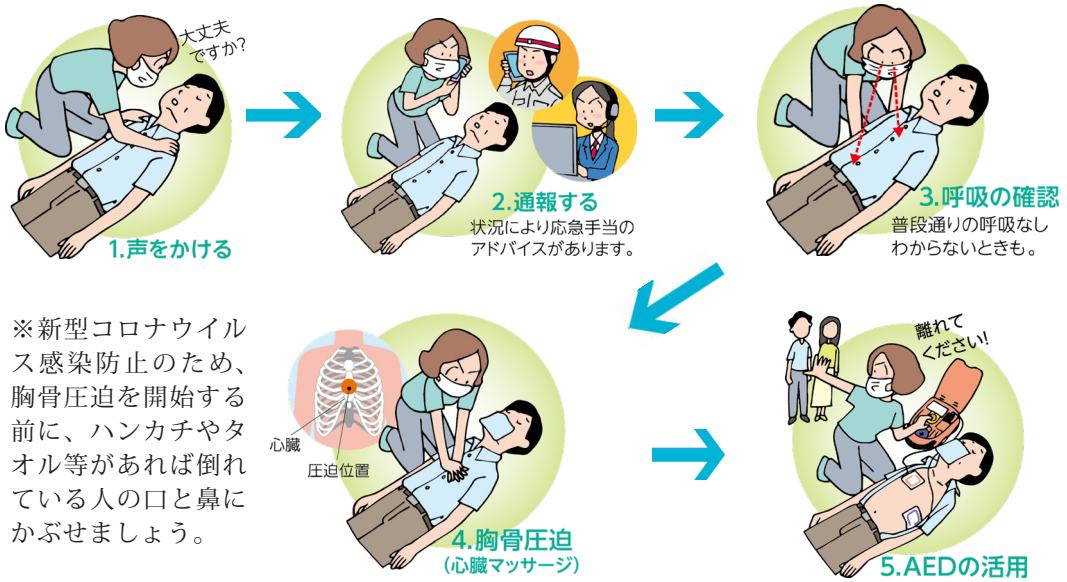
９月９日は救急の日です。救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、１９８２年（昭和５７年）に定められました。

救急の日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。

救急車が来る前に、あなたができること

目の前に倒れている人がいたら、あなたはどうしますか？

もしもの場面に役立つのは「日頃の意識や備え」です。これを機会にあらためて考えてみましょう！



※新型コロナウイルス感染防止のため、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオル等があれば倒れている人の口と鼻にかぶせましょう。

◆大人に対しては、胸骨圧迫のみ行い、人工呼吸は行わないでください。子どもに対しては、人工呼吸の訓練を受けており、それを行う意思がある家族等は、胸骨圧迫に加えて人工呼吸を行います。

◆救急隊に引き継いだら、口元にかぶせたハンカチやタオル等は直接触れないようにして廃棄しましょう。

石けんを使い手と顔をしっかり洗い、うがいをしましょう。

少年消防クラブ ～防災を担う子どもたち～

少年消防クラブは、少年少女のころから正しい火災予防の知識と技術を身に付け、将来の地域防災の担い手として防火・防災思想の普及に努めています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため活動ができませんでしたが、今年度は感染防止に努めながら、クラブ大会や夏季研修を実施しました。

11 月には八女地区少年消防クラブ交流会を開催予定です。

福岡県防災奨励賞受賞 ～吉永商店株式会社さま～

福岡県のさまざまな防災活動事例を広く県民に紹介することにより、防災に対する県民意識の高揚を図り、防災対策の一層の推進に資することを目的とする福岡県防災奨励賞を広川町大字一條の吉永商店株式会社が受賞されました。令和３年３月９日、八女消防本部において伝達式を行い、消防本部からも感謝状の贈呈を行いました。

受賞された吉永社長からは、今後も広川町の安心安全のため、防火・防災に貢献していきたいとの力強いお言葉をいただき、消防本部としても心強く感じました。

特別救助隊

八女消防本部特別救助隊は、昭和４６年に発足し、現在２７名の隊員で編成されています。

八女地域は山間部が多く山岳救助にも対応するため、登山用のザイルを使った訓練も新たに取り入れるなど、さまざまな救助現場を想定し、安全かつ迅速に救助・救命することを目的として常に訓練を行っています。

潜水救助隊

八女消防本部潜水救助隊は、昭和６０年に発足し、現在１８名で編成されています。

管内には日向神ダムや一級河川の矢部川をはじめ多数の池や河川が点在するため、あらゆる水難事故を想定し、日々訓練を行っています。